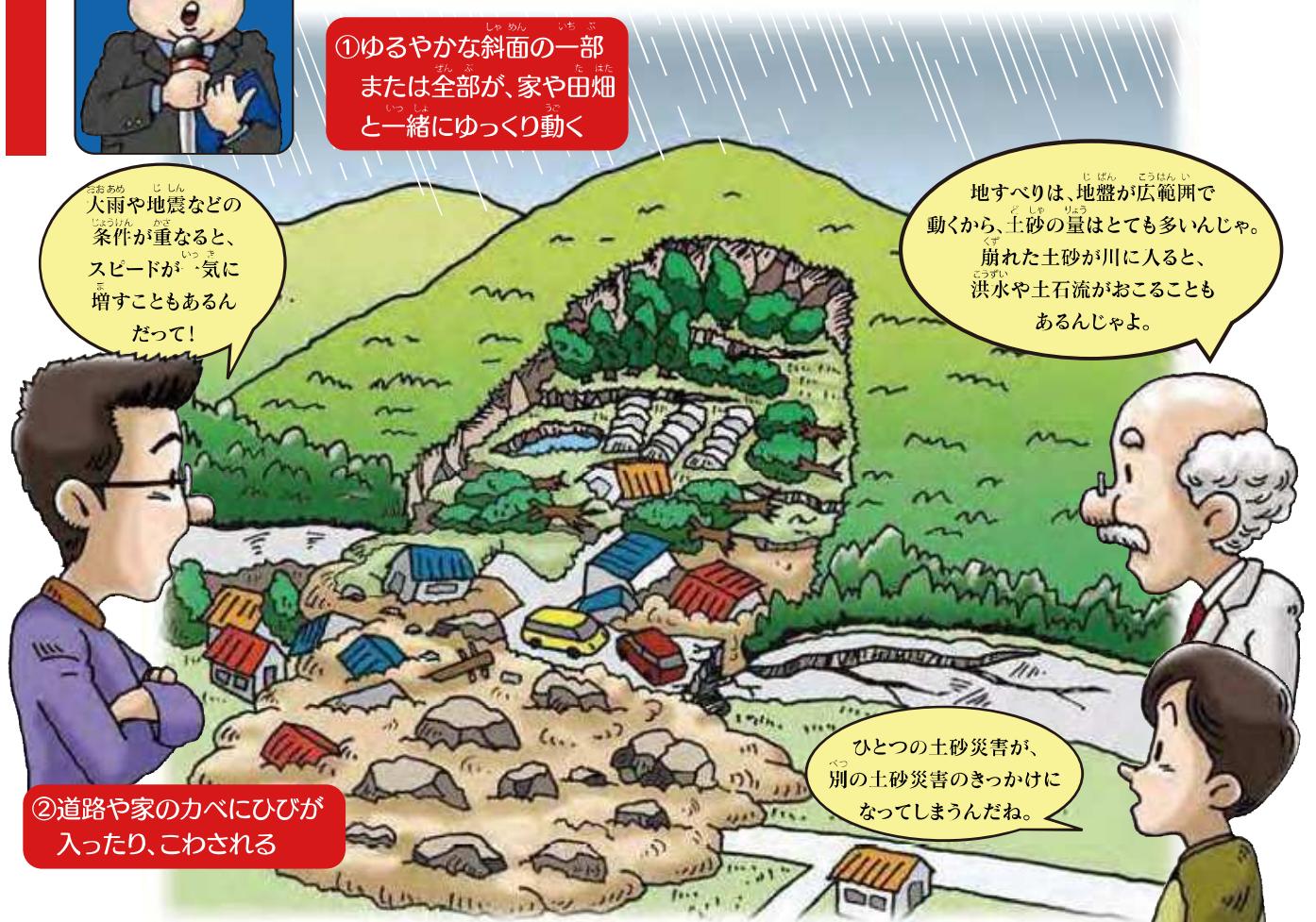


2 土砂災害をくわしく知ろう!

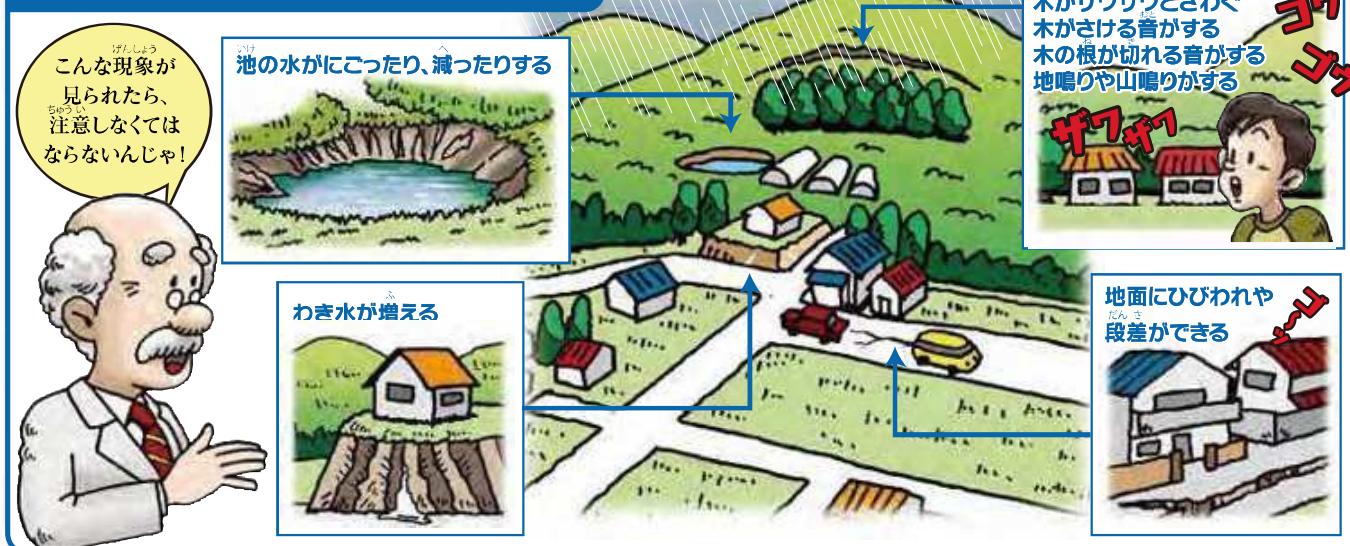
2-3 地すべりって何だろう?



地すべりは、どうやって起こるの?



知っておこう! 地すべり発生の前ぶれ

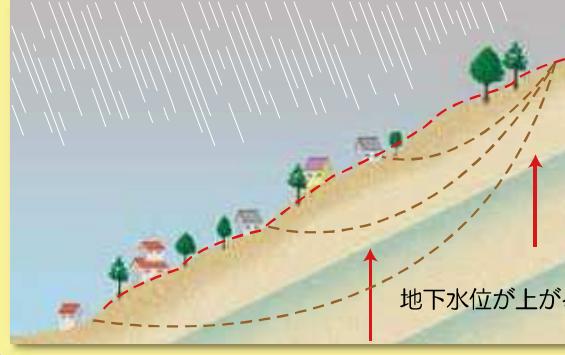


地すべりについてもっとくわしく解説しよう!



地すべりの発生する仕組みはこうじや!

① 雨が降り続くと、地面からしみこんだ水が地下にたまり、地下水位が上がります。



② さらに雨が続くと、やわらかくなった地盤が少しずつ動きはじめます。

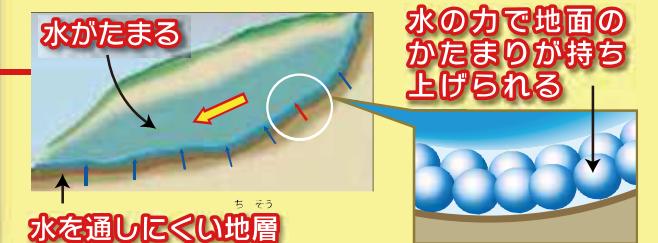


③ 大きな地面のかたまりが大きく動きだします。



なぜ地面が動くのかな?

地面には水を通す層と通しにくい固い層があって、雨が降ると水を通しにくい層に水がたまります。そのたまった水の力で地面が持ち上げられて、浮いた状態となり、下方へ動きはじめます。



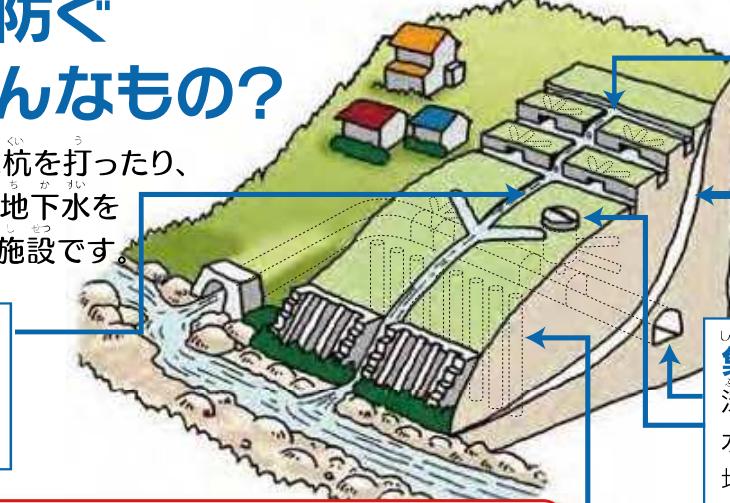
地すべりを防ぐ施設ってどんなもの?

地盤が動かないように杭を打ったり、地すべりの原因となる地下水を取り除いたりしている施設です。

水路工
雨水などが地面にしみこまないようにします。

おさらい

地すべりは斜面の一部または全部が、ゆっくり下方へ移動する現象じゃ。地すべりは広い範囲で起こるため、家や田畠、道路などが、一度に大きな被害を受けてしまうんじゃよ。



排土工
重い土のかたまりを取りのぞきます。

すべり面
粘土層を境にして、ここから上の土のかたまりを動かします。

水路工
雨水などが地面にしみこまないようにします。

杭工
杭をすべり面の下まで深く打ち込んで、土のかたまりが動かないようにします。